

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇南中学校区） 意見概要

テーマ：①望ましい学習・生活集団規模について ②望ましい指導体制について

【就学前保護者・学校関係者グループ】

No	意見
テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について	
01	自分の意見を言える、他人の意見を聞ける環境、クラス規模
02	ある程度的人数がいる方がいい。(特に高学年)
03	色々な考え方、価値観に触れる機会があれば良い。
04	集団の中で主体性をはっきりしてほしい。
05	意見交換ができる人数規模が良い。
06	多様な意見に触れる機会が多い方がいい。
07	最低でも1クラス20人はいた方がいい。
08	地域で育てたい⇔地域の少子化 望ましい集団規模と乖離
09	考えさせるスキル・見守るスキルが必要＝時間がかかる
テーマ② 望ましい指導体制について	
10	現場の先生の声を反映できる体制づくり。
11	大きい学校、小さい学校の差が大きい。
12	学校選択制にして行きたい学校を選べるようにしてほしい。
13	準備のいる教科→専科がいいかも
14	心を育てる教科は担任が行う方がいい。
15	担任制について低・高学年で柔軟に対応すべき。
16	まず生徒と子供との信頼関係を築いてから教科担任をしていただきたい。
17	タブレット学習にしてもきちんと分かる先生の必要性

【小中学校保護者・学校関係者グループ】

No	意見
小・中学校毎に、学習・生活集団規模など、各学校の状況に応じて意見交換	
○芳田小学校	
01	新入生が4人しかおらず今後不安がある。
02	生徒数が少人数のため存続できるのか不安がある。
03	少人数ならではのきめ細かい教育ができる。
○重春小学校	
04	クラス替えできるメリットある。
05	集団の中で子どもが強い人間に育つ環境にある。
06	1クラス40名近くいることで先生の目が行き届かないことがある。
07	きめ細やかな教育があまりできていない？
08	もう少し少ない人数のクラスの方がきめ細やかな指導が受けられるのではないか？
○西脇南中学校区全体	
09	中学に入ると一緒になるため、小学校のときから重春・芳田の交流する回数を増やすことも必要

【地域代表グループ】

No	意見
テーマ① 望ましい学習・生活集団規模について	
01	社会性を養うためにも多人数クラスが良い。
02	1学級35人以下できれば30人以下が望ましい。
03	1学年複数学級クラス替えができること。
04	クラス替えができる児童生徒数
05	学級数は1学年3クラスから4クラスが望ましい。
06	少人数より多い人数でもまれる教育
07	1学級30人規模が望ましい。
08	規模が小さすぎるのは子どもにとって良くない
テーマ② 望ましい指導体制について	
09	小学校＝英語専門の教師（外国人）学科専門の教員
10	学校の教員数がある程度（20人くらい）確保できる体制
11	教員の資質を高める取組が重要
12	先生に余裕を持たせる授業時間
13	学校で困っていることを保護者と共有する→一方的なクレームを言わない。
14	部活動は地域活動に→教職員の負担を減らす。
15	教員の持ち授業数を平均化するために小・中の教員交流を行う。
16	教科担任制が良い→研修機会も生まれるのでは？
17	小学校高学年の教科担任制がとれる教員規模の学校
18	義務教育学校の検討を進める。